

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[管理型](平成 28年 12月度)

対象期間:平成 28年 12月 1日 ~ 平成 28年 12月 31日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の2ハ イ、規12条の7の5七 イ]

種類	数量(単位)
燃え殻	1,970.17 (トン/月)
汚泥	4,977.17 (トン/月)
廃プラスチック類	35.24 (トン/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	122.31 (トン/月)
鉱さい	793.87 (トン/月)
がれき類	781.16 (トン/月)
ばいじん	1,543.36 (トン/月)
13号廃棄物	291.03 (トン/月)
汚染残土	(トン/月)
混合廃棄物	803.33 (トン/月)
その他(燃え殻)	(m3/月)
その他(汚泥)	1.00 (m3/月)
その他(ガラス陶磁器屑)	52.00 (m3/月)
その他(廃プラスチック類)	(m3/月)
その他(煤塵)	(m3/月)
その他(瓦礫類)	6.00 (m3/月)
その他(廃石綿等)	81.00 (m3/月)
廃プラスチック類(石綿含有)	12.00 (m3/月)
ガラス陶磁器屑(石綿含有)	54.00 (m3/月)
がれき類(石綿含有)	71.00 (m3/月)

水質検査の実施状況と措置(年1回)[規12条の7の2ハ ニ及びホ 規12条の7の5七 ニ及びヒ]

	地下水等		放流水
	平成28年9月6日	平成28年9月6日	平成28年9月6日
採取日	平成28年9月6日	平成28年9月6日	平成28年9月6日
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
検査結果が得られた日	平成28年9月28日	平成28年9月28日	平成28年9月28日
検査項目	ダイオキシン	ダイオキシン	ダイオキシン
検査結果	0.090 (pg-TEQ/L)	0.080 (pg-TEQ/L)	0.00080 (pg-TEQ/L)
異状の有無	有・ 無	有・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容	/		

水質検査の実施状況と措置(月1回)[規12条の7の2ハ ニ及びホ、規12条7の5七 ニ及びヒ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	12月6日	12月6日	12月6日
検査結果が得られた日	12月15日	12月15日	12月15日
電気伝導率	6.9 (25°C mS/m)	16.10 (25°C mS/m)	
塩化物イオン濃度	7.5 (mg/L)	2.20 (mg/L)	
水素イオン濃度			7.7 (20.8°C)
生物学的酸素要求量			2.7 (mg/L)
化学的酸素要求量			12 (mg/L)
浮遊物質			<1 (mg/L)
窒素含有量			3.6 (mg/L)
異状の有無	無	無	
必要な措置を講じた日付とその内容	/		

施設の点検[規12条の7の2ハ ロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規12条の7の5七 ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理施設
	平成28年12月28日	平成28年12月28日	平成28年12月28日	平成28年12月28日
点検日	平成28年12月28日	平成28年12月28日	平成28年12月28日	平成28年12月28日
異状の有無	無	無	無	無
必要な措置を講じた年月日とその内容	平成 年 月 日			
	/			

※「防凍のための措置」:当該処分場の導水管等は、凍結損壊のおそれのある部分はありません。

残余容量

測定年月日	平成28年 3月31日
測定結果	551,184m3

※1 処分場の平面図に位置を明示すること。

*この書式は(社)全国産業廃棄物連合会最終処分部会作成を元に作成。